

株主の皆様へ

第63期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日

TAKAMAZはパラリンアートを応援しています

 **Paralym Art**®

パラリンアートとは

障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。



作品名「小さな幸せの庭」 KOTOさん/作



今このときを成長のチャンスと捉え、 筋肉質かつサステナブルな経営基盤の 確立を目指します

代表取締役社長

高松宗一郎

Q 第63期(2024年3月期)の振り返りをお願いします。

A 様々な取り組みが成果を上げているものの、 営業利益は赤字となりました。

当社グループの主力分野である工作機械業界では、国内自動車業界における設備投資の本格化が期待されていたものの、依然として先送りが続いてきました。また、中国景気の低迷が継続したことなども影響し、2023年度業界受注総額は3年ぶりの減少となりました。

当社グループにおいては、国内自動車業界に強みがあることから、総じて厳しい環境にありましたが、国内外の主要展示会や海外プライベートショーにて、ユーザの生産性を向上させるための自動化・省人化提案を行うことで、他社にない付加価値を提供することに努め、需要掘り起こしのための積極的な営業活動を進めてきました。また、自動車業界以外の市場開拓にも積極的に取り組み、多岐にわたる市場からの受注を獲得してきました。

そのほか、新機種の開発、新規事業への挑戦、高騰する原材料費

等の価格転嫁、工作機械事業本部による一体的な生産性向上などにも取り組み、一定の成果を上げることができました。

しかしながら、当初想定よりも工作機械需要が回復しなかった影響が大きく、受注高が144億52百万円(前年同期比10.1%減)にとどまった結果、連結売上高は141億84百万円(同14.9%減)となり、利益面では3億86百万円の営業損失(前年同期は5億16百万円の営業利益)となりました。

Q 第64期(2025年3月期)の見通しを教えてください。

A 利益重視の経営を推進し、業績改善をはかります。

工作機械業界では、昨今の人手不足や人件費高騰を背景とした自動化ニーズ、カーボンニュートラル対応などの様々なニーズに対する潜在的需要があります。また、自動車業界においては、EV関連投資だけではなく、足元ではHVやガソリン車への回帰の動きもみられるなど、今後の業界動向は、不透明ながらも長期的には設備投資が進むものと見込まれます。

このような状況の中、当社グループでは利益重視の経営を推進し、黒字化に向けた業績改善をはかります。生販一体化した工作機械事業本部にて全社最適の視点から収益改善や効率化に取り組むことにより収益力を向上させるとともに、やりがいや働きがいのある職場・制度づくりの実現に向けた取り組みを進めていきます。

また、受注アップに向け、強みである自動化技術・カスタマイズ力を活かした付加価値の高い生産ラインの提案を積極的に進めるほか、カーボンニュートラルに対応する製品のPRを進めるなど、お客様に価値ある製品を提供することで業界の潜在的需要を掘り起こしていきます。

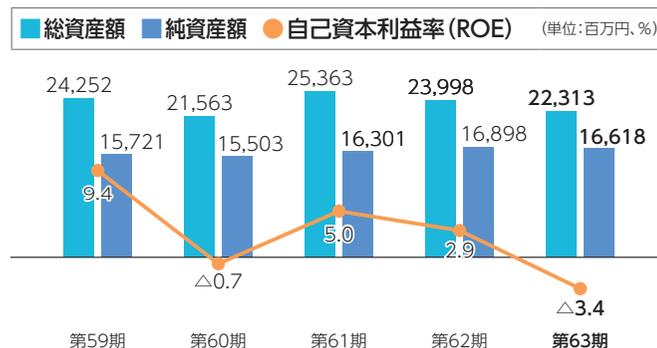
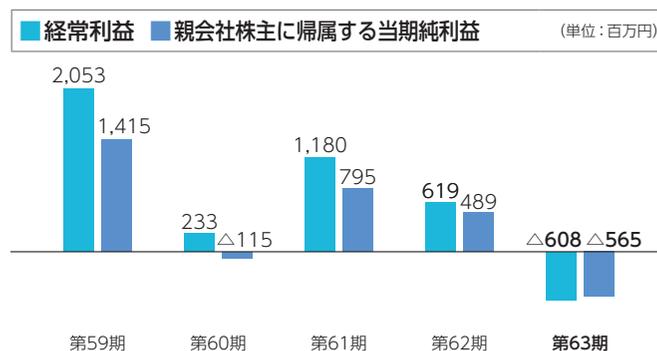
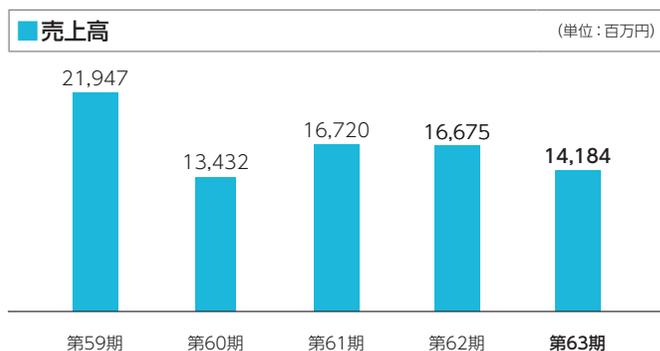
以上を踏まえて、第64期の連結業績予想については、売上高164億36百万円、営業利益4億74百万円、経常利益3億36百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億69百万円を見込んでいます。

Q 業績改善のため、どのような取り組みを進めますか。

A 筋肉質かつサステナブルな経営基盤の確立に取り組めます。

第63期は赤字となりましたが、経営基盤の強化をはかるため、不採算事業の見直しによる子会社および関係会社2社の解散(清算手続き中)、中国合弁会社に係る棚卸資産評価損の計上、自動車部品加工事業の減損損失の計上を行っています。

第64期におきましても、引き続き不採算事業の見直し・改善、資産効率の向上、原価低減やコスト削減に取り組んでいくほか、KPI管理や収益分析の強化、既存戦略の見直しなどを進めて、可及的速やかな業績改善をはかっていきます。



また今年度、新しく「利益向上プロジェクト」を立ち上げました。これまで、原価低減や生産性向上に努めてきましたが、生産部門だけではなく営業部門もプロジェクトメンバーとなることで、受注から納品までの一連のプロセスにおいて、全社最適の視点で利益の向上に取り組んでいきます。

このように、会社全体で、既存の取り組みの強化、新しい取り組みの実施などにより、筋肉質かつサステナブルな体制を築き上げていきます。

Q サステナビリティに関する取り組みを教えてください。

A 製品の提供による貢献や、社員エンゲージメントの向上に努めます。

当社グループでは、モノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献することを基本方針とし、サステナビリティの実現に取り組んでいます。

新規事業への挑戦として開発を進めてきた「資源ごみAI自動選別機」は、リサイクル業界の人手不足問題を解決に導く製品です。2024年4月に「AI・B-sort」として正式販売を開始しました。今後は製品の普及をはかっていくとともに、リサイクル業界のサステナビリティ実現に向けた更なる製品開発を検討していきます。

工作機械では、カーボンニュートラルに貢献する機能の実装をはかり、お客様のカーボンニュートラル実現に貢献してきました。

2025年3月期連結業績予想

売上高 164億36百万円 (前年同期比 15.9%増)

営業利益 4億74百万円 (前年同期は386百万円の営業損失)

経常利益 3億36百万円 (前年同期は608百万円の経常損失)

親会社株主に帰属する当期純利益 1億69百万円 (前年同期は565百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)

第63期に市場投入した「XWT-8」には、当社独自の冷却システムを開発し、搭載しました(特許出願中)。また、MEX金沢2024にてお披露目した「XTL-8」は、エネルギー消費の効率化をはかり、従来機比約6%減の省エネ化を実現しました。「XTL-8」についての詳細は6ページをご覧ください。

また、当社内においても様々なサステナビリティの取り組みを進めています。第63期は本社工場に太陽光発電設備を設置しましたが、あさひ工場にも設置を決定し、今年秋に設置完了予定です。また、社員エンゲージメントの向上に向けて人事制度や職場環境の改善をはかっており、特に社員の健康増進のための取り組みに関しては、優良な健康経営を実践している法人として、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)に認定されました。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

第63期の配当金につきましては、安定的な配当水準を維持していくという配当方針のもと、年間10円(中間5円、期末5円)を配当させていただきました。

第64期につきましては、配当方針と業績改善見込みを鑑み、2円増配した年間12円(中間5円、期末7円)を予定しています。

工作機械業界は、需要拡大が見込まれつつも、国際情勢や景気動向など不安要素は多く、先行きに期待と不安が混在していますが、当社グループでは中期計画2024の基本方針に掲げる「チェンジ! チャレンジ!」を合言葉に社員と会社が一体となって、今後も変化を恐れず挑戦し続けます。

当社グループは、第64期の経営目標必達に専心するとともに、企業価値向上をはかるため、持続的成長を志向し、将来の目指す姿に向けた取り組みにまい進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

社員エンゲージメント向上に向けた取り組み

タカマツアワードの開催

社内表彰イベント「タカマツアワード2024」を初開催しました。タカマツアワードは、これまでにない新しい活動や収益性を意識した活動等、会社にポジティブな影響をもたらす活動を表彰する制度で、社員のモチベーションのアップ、そして社員同士がお互いの立場をリスペクトすることを目的としたものです。

4月に行われた発表イベントでは、受賞チーム27組のうち2組がMVPとして表彰され、社員からは「これまで見過ごされてきた活動にもスポットライトが当てられた」「他部署の活躍を知ることができた」といった声が聞かれました。

会長賞「こつこつご苦労様です賞」



関係部署と協力し、原価低減・生産性向上に取り組んだプロジェクトチームの活動が評価されました

社長賞「将来への光賞」



展示会での加工実演と解説が評価され、学生父兄から将来への道しるべができた、とのお手紙もいただきました

健康経営優良法人2024(大規模法人部門)

当社は2024年3月、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)に初めて認定されました。この制度は、経済産業省および日本健康会議が推進する、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するものです。

これまで当社では、社員の有休取得率の向上や、健診結果・生活習慣の改善に積極的に取り組んできており、その成果が評価され、今回の認定に繋がりました。

今後も、社員の「こころ」と「からだ」の健康保持・増進のための制度や環境を整え、一人ひとりの個性や能力が最大限に発揮できる職場環境づくりに努めていきます。



金沢城リレーマラソンへの参加

2023年秋および2024年春に行われた金沢城リレーマラソンに、チームTAKAMAZとして参加しました。金沢城リレーマラソンへの参加は、この機会をきっかけに社員の横の繋がりを円滑にすることで、社員の働きやすさを向上するとともに、地域PRの強化を目的に企画されました。

2023年秋には78名、2024年春には77名の有志が参加をし、皆がお揃いのTシャツでタスキを繋ぎ、当社の4チーム全てが無事完走しました。

参加者からは、「普段の仕事では話す機会のない他部署とのコミュニケーションがとれた」「会社での一体感が感じられた」といった声が聞かれました。

今後も、社員が働きやすい職場環境を実現するための様々な活動に、積極的にチャレンジしていきます。



特集 AI・B-sort販売開始

新規事業への挑戦として開発してきた「資源ごみAI自動選別機」がこの度完成し、「AI・B-sort」として販売開始しました。

「AI・B-sort」はびんの色選別を行い、リサイクル業界の人手不足の課題を解決に導く製品です。現在、ごみの再利用が求められる中、需要拡大が期待されています。

「AI・B-sort」は、すでに販売実績があり、納入した施設では作業者数が半減できる見込みです。今後もターゲットを定め、更なる需要拡大を目指していきます。

市場規模
130億円
※2035年想定



国内ターゲット
3,000
施設以上

記者発表会の様子

2024年4月にあさひ工場にて、テレビ局、新聞社等の記者向けに発表会を開催しました。

記者発表会では、実際に機械を稼働し、様々な色のびんが「AI・B-sort」により色選別される様子を皆様にご覧いただきました！



展示会に出展しました！

● MEX金沢2024

期間：2024.5.16(木)～5.18(土) 場所：石川県産業展示館



● NEW環境展2024

期間：2024.5.22(水)～5.24(金) 場所：東京ビッグサイト



XTL-8 幅広いターゲットに向けた、カーボンニュートラルに貢献する新製品



Point 1 EV向けを含むシャフトワークがターゲット

[XTL-8]は、EV、HV、エンジン車等の自動車や産業機械にとって必要なシャフトワーク(*)をターゲットにしており、中でもXTシリーズのスタンダード機であるXT-8では対応できなかった長さのワークにも対応可能としたことで、高い需要が期待できます。

※シャフトワーク…機械や装置の回転軸や棒状の部品

Point 2 カーボンニュートラルに貢献

省エネレベル選択機能やアイドルストップ機能により、環境負荷低減によるカーボンニュートラル貢献やお客様のランニングコスト削減を実現します。

Point 3 便利なオプション機能

加工プログラムを効率的に作成できるT-PROGRAM GUIDEや、作業性の向上に繋がる各種機能をオプションで搭載でき、効率的な生産を実現します。

New

T-PROGRAM GUIDE (対話プログラム機能) のご紹介 コードの知識無しに初心者でも簡単にプログラム作成

必要項目を画面の順に入力するだけで簡単にプログラム作成を行います

①ワーク設定
素材や寸法等、決められている項目を入力

②工具条件設定
選択した工具・ワーク材質により切削条件を自動決定

③加工サイクル設定
使用工具に合う加工サイクルを表示し、迷わず選択

④シミュレーション
作成した加工プログラムはアニメーションでチェック

工具管理を行える機能や工程編集を容易に行える機能を搭載



工具管理
工具情報(材質・形状等)の事前登録によりプログラムごとの条件設定入力を簡易化



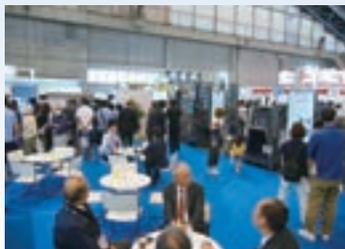
工程編集
工程ごとのサイクルや条件を確認でき、編集操作を容易化

MEX金沢2024に出展しました!

5月16日~18日の3日間で行われた、機械工業見本市「MEX金沢2024」にて、新製品「XTL-8」を展示しました。

「XTL-8」は、10月に名古屋で行われたメカトロテックジャパン2023にて、「プロトタイプ」として展示した際にもご好評をいただきましたが、今回正式に発表を行い、来場した方々の大きな注目を集めました。

当社ブースでは他にも、高い生産性をベースにDXとサステナビリティを追求した「XWT-8」やリサイクル業界の人手不足の課題を解決に導く「AI-B-sort」(5ページでも紹介しています)等、お客様のニーズに応える製品群を展示し、当社営業員が積極的なPRを行いました。



第63期 売上高構成比

工作機械事業 89.0%

IT関連製造装置事業 2.0%

9.0%

自動車部品加工事業

工作機械事業

売上高 12,618百万円

(前年同期比 16.3%減)

営業利益 △414百万円

(前年同期は469百万円)



営業面では、国内外の主要展示会出展や海外子会社でのプライベートショー開催等によるPR活動を推進してきたほか、当社製品に対する認知度が低い自動車業界以外の業種に対しては、実機による製品の特長や強みをPRする営業キャラバンを実施し、新規開拓に繋げてきました。

地域別の売上高は、全ての地域向けで減少した結果、内需が85億91百万円(前年同期比7.9%減)、外需が40億26百万円(同30.0%減)、外需比率が31.9%(前年同期は38.1%)となりました。

製品面では、今後の需要拡大が見込まれるEV部品の加工に狙いを定めた新製品開発を進めるとともに、カーボンニュートラルに貢献する機能の実装をはかってきました。

生産面では、工作機械事業本部による一体的な取り組みを推進し、多様化するお客様のニーズへの最適な対応をはかってきたほか、先行発注による安定生産、生産計画の情報共有の強化による早期出荷や追加生産枠の確保等に努めてきました。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



IT関連製造装置事業

売上高 1,283百万円

(前年同期比 1.5%減)

営業利益 60百万円

(前年同期比 24.6%減)

既存取引先や商社を中心に計画的な営業活動を推進してきたとともに、新規開拓にも注力してきましたが、半導体需要の調整が継続したことで、受注高および売上高が減少しました。

また、受注価格改定やコスト削減の取り組みによって、収益改善の成果が上がっているものの、売上高の減少および製品構成比の影響等により、営業利益も減少しました。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



自動車部品加工事業

売上高 282百万円

(前年同期比 4.7%減)

営業利益 △19百万円

(前年同期は△32百万円)

取引先である自動車メーカーの生産調整等が継続した影響を受けたことで売上高は減少しましたが、エネルギー価格高騰分を価格転嫁できたことにより、営業損失は縮小しました。

なお、不採算事業の見直しにより、タイで自動車部品加工事業を行っていた当社連結子会社TP MACHINE PARTSは、2023年12月に解散しました(清算手続き中)。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)

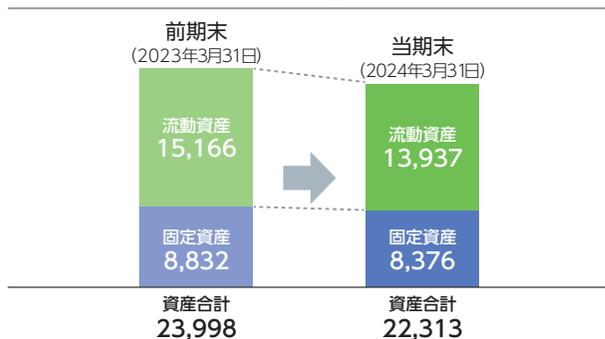


(注)1. 第61期より、「収益認識会計基準」等の適用により、売上高が減少していますが、利益に対する影響はありません。

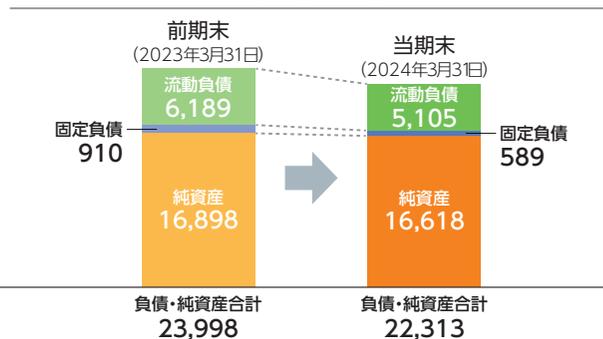
2. タイの販売会社TAKAMATSU MACHINERY THAILANDはこれまで通り事業を継続します。

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

資産の部

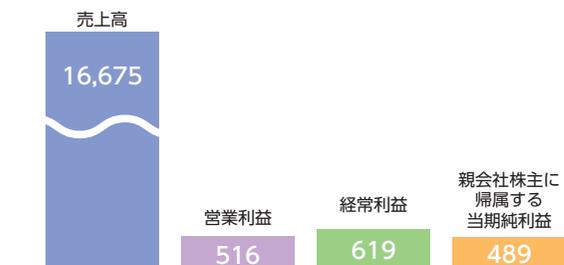


負債・純資産の部

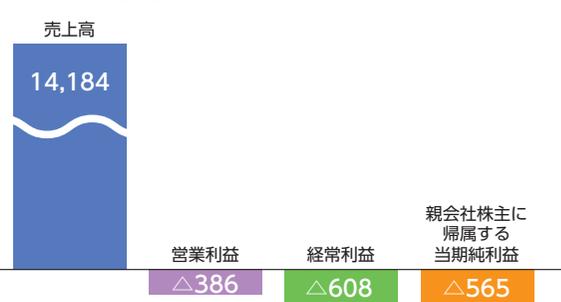


連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

前期累計 (2022年4月1日～2023年3月31日)

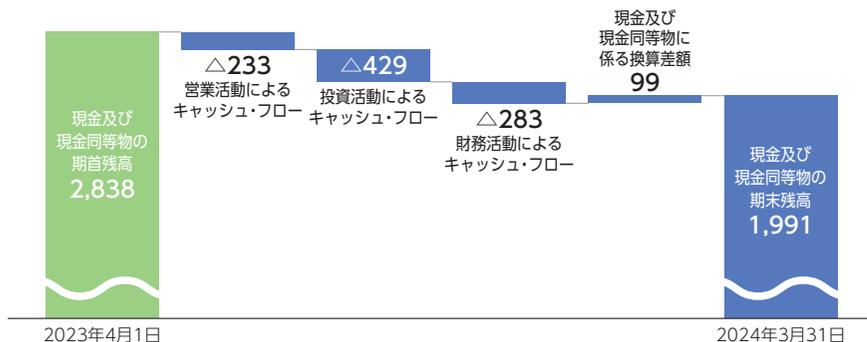


当期累計 (2023年4月1日～2024年3月31日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)

当期累計 (2023年4月1日～2024年3月31日)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。



IR・投資家向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

会社概要

商号	高松機械工業株式会社
英文商号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設立	1961年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	502名

- 事業内容
- CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス
 - 部品、コレットチャック等の製造、販売
 - IT関連製造装置の製造
 - 自動車部品の加工
 - 食品加工機械の製造
 - 資源ごみAI自動選別機の製造

ホームページアドレス <https://www.takamaz.co.jp>

役員

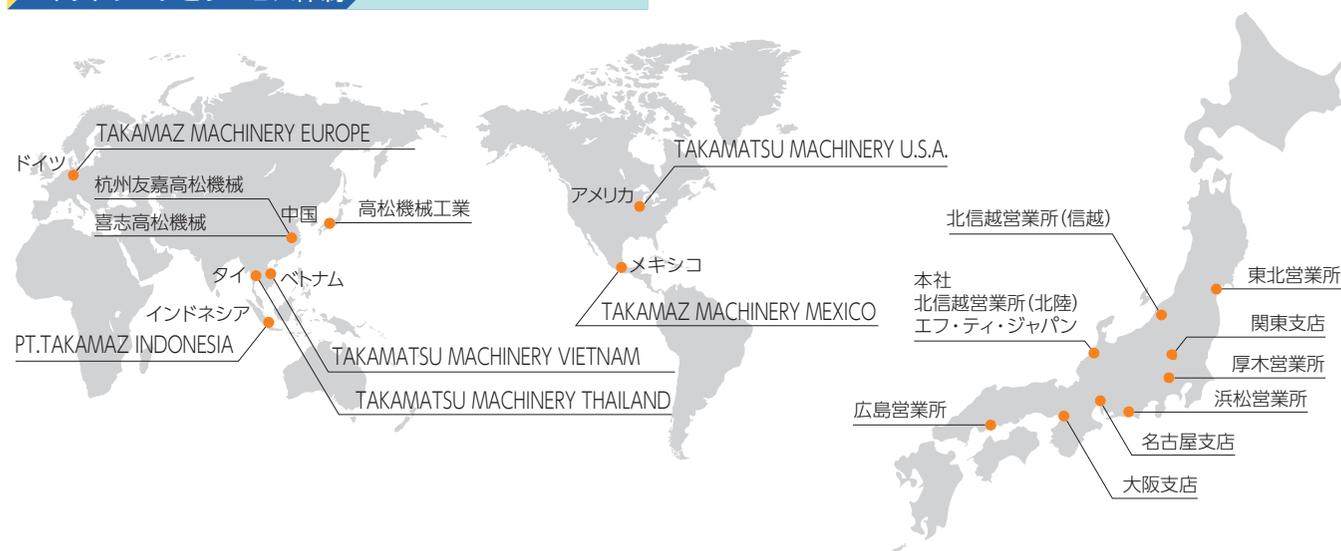
代表取締役会長	高松喜与志
代表取締役社長	高松宗一郎
専務取締役	徳野 穰
常務取締役	磯部 稔
常務取締役	四十万 尚
取締役(社外)	中西 祐一
取締役(社外)	池元 ことみ
取締役(社外)	高田 英美
常勤監査役	村田 俊哉
監査役(社外)	高井 和男
監査役(社外)	寺井 尚孝

執行役員

(2024年4月1日現在)

上席執行役員	唐木 英幹
上席執行役員	梅田 勝
執行役員	山野 真
執行役員	鍋木 一弘

ネットワークとサービス体制



株式の状況

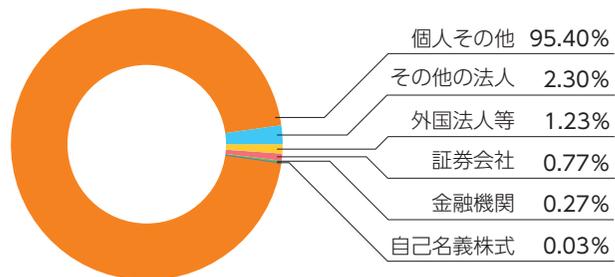
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,001 名

大株主

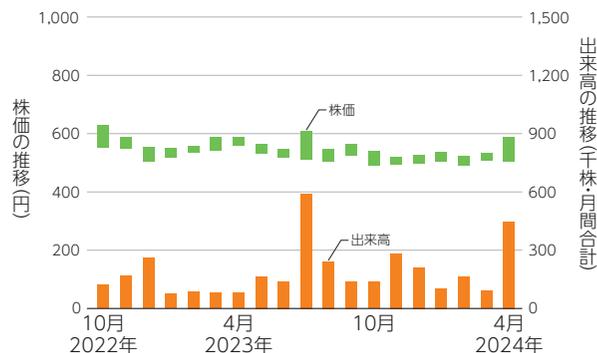
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,110	10.33
株式会社タカマツ	810	7.53
北国総合リース株式会社	433	4.03
株式会社北國銀行	408	3.79
日本生命保険相互会社	384	3.57
株式会社朝日電機製作所	361	3.36
明治安田生命保険相互会社	360	3.35
高松機械工業社員持株会	343	3.20
高松 明毅	330	3.07
高松 喜与志	299	2.79

(注) 持株比率は自己株式(268,680株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移



配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。

また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行ってまいります。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期および第63期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

アンケートご協力のお願い (単元株主の皆様へ)

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートへのご協力をよろしく願います。所要時間は約5分です。

アクセス方法

下記の方法でアクセスいただき、表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケートサイトへアクセスいただけます。

締切 **2024年9月30日**

抽選で200名様に、
QUOカード500円分を
進呈いたします。



表紙のご紹介

表紙の作品は、KOTOさん作「小さな幸せの庭」という作品です。すみれと白い鳥が描かれたこちらの作品は、平和な雰囲気を感じ、見る人を温かく優しい気持ちにさせてくれます。

